

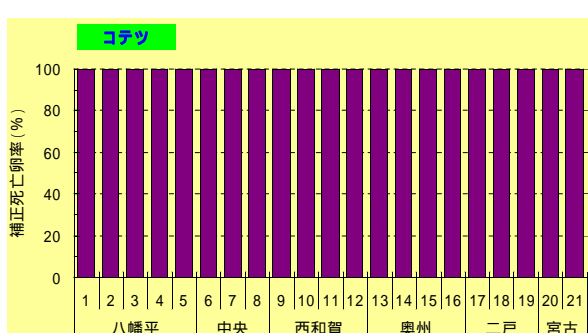
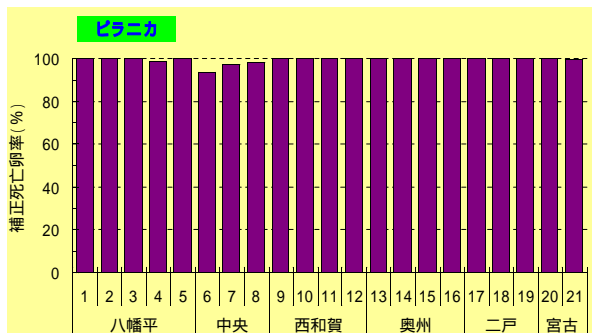
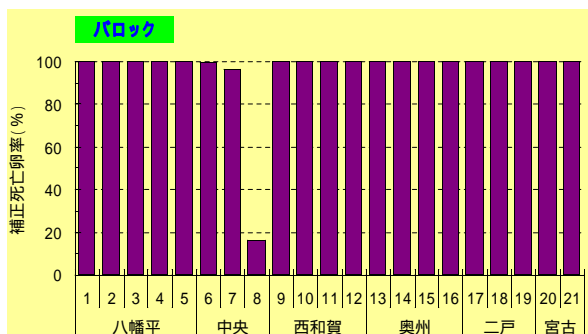
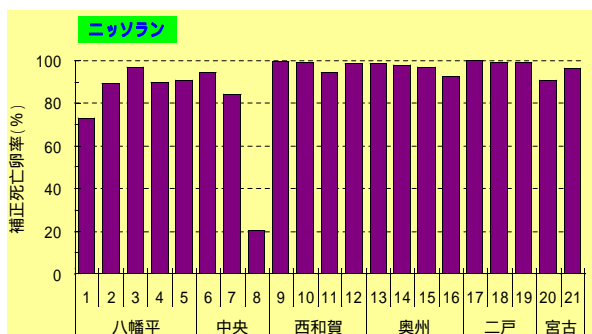
りんどうハダニ類の薬剤感受性の実態

ハダニ類の卵に対する薬剤感受性の実態

1. ヘキシチアゾクス水和剤（商品名：ニッソラン水和剤）に対し、一部地域で感受性の低下が認められる。
2. テブフェンピラド乳剤（商品名：ピラニカEW）、クロルフェナピル水和剤（商品名：コテツフロアブル）及びエトキサゾール水和剤（商品名：バロックフロアブル）に対する感受性の低下はほとんど認められない。
3. りんご園に接したNO. 8圃場では、ヘキシチアゾクス水和剤及びエトキサゾール水和剤に対する著しい感受性の低下が認められる（表1）。

留意事項

1. 現地で殺ダニ剤の防除効果が劣る原因は、薬剤に対する感受性の低下によるものではなく、散布むらによるものが大きいと考える。よって、防除に当たってはハダニ類の生息部位である葉裏に十分量を散布する。
2. 本成果を参考に薬剤の選択を行う。また、本年度に新たに登録されたアセキノシル水和剤（商品名：カネマイトフロアブル）とミルベメクチン水和剤（商品名：コロマイト水和剤）を活用する。



ハダニ類卵の薬剤感受性の実態 (H18)

担当研究室 病害虫部 病理昆虫研究室

〒024 - 0003 北上市成田 2 0 - 1

TEL. 0197 - 68 - 4417

FAX. 0197 - 71 - 1083